

学習状況診断票(国語) 小学校 第6学年

6年 組 番 名前

領域	問題番号			出題のねらい	評価の観点			
	大問	小問	通番		聞く能力	書く能力	読む能力	言語事項
話すこと・聞くこと	一	一	1	話し手が伝えようとしている内容の中心を、正しく聞くことができる。				
		二	2	話し手がどのような理由で意見を述べているかを、正しく聞くことができる。				
		三	3	話し手がどのような理由で意見を述べているかを、正しく聞くことができる。				
		四	4	分かりやすい話し合いにするために、話し手がどんな工夫をしているかを考えながら聞くことができる。				
書くこと	二	一	5	文章の構成をとらえて内容を正しく並べることができる。				
		二	6	事実と意見を区別し、構成を整えて文にまとめることができる。				
読むこと	三	一	7	文章の構成を考えながら読むことができる。				
		二	8	登場人物の気持ちを想像しながら読むことができる。				
		三	9	物語のあらすじをとらえながら読むことができる。				
		四	10	優れた表現について、その効果を考えながら読むことができる。				
		五	11	目的に応じて、必要な図書資料を選ぶことができる。				
書くこと	四		12	グラフをもとにして、書く必要のある事柄を選び、グラフから分かることとそれについての考えや理由を区別して書くことができる。				
言語事項	五	(1)	13	6年生までに習った漢字を正しく読むことができる。				
		(2)	14					
		(3)	15					
		(4)	16					
		(5)	17					
	六	(1)	18	5年生までに習った漢字を正しく書くことができる。				
		(2)	19					
		(3)	20					
		(4)	21					
		(5)	22					
	七		23	敬語の使い方を理解し、正しい敬語の使い方をしているものを選ぶことができる。				
	八		24	ことわざや漢字四字の言葉を理解し、正しい使い方をしているものを選ぶことができる。				
						/4	/3	/5

今後の学習に向けて *自分ががんばりたいところに を付けたり、下線を引いたりしましょう。

「聞くこと」の力を身に付けるために	<ul style="list-style-type: none"> 話し手の意図を考えながら聞く、「話し方や話し合いの進め方の工夫を考えながら聞く」など、国語の授業で学習した聞き方についてくり返し復習しましょう。 国語の授業で学習した大切な聞き方を、授業中に先生や友だちの話の聞くとときや、家の方から話を聞くとときなど、毎日の生活でも生かせるように注意して取り組みましょう。
「書くこと」の力を身に付けるために	<ul style="list-style-type: none"> 最初に、資料を見て分かることをはっきりさせましょう。そして、分かった事実に対して自分はどのような考えをもったのかを書くことが大切です。その上で、自分の考えを分かりやすく伝えるために、自分の意見とその理由を別々の文で書くようにしましょう。 家庭においても、教科書の文章を視写したり、日記を書いたり、新聞を読んだ感想をまとめたりするなど、自分が毎日できることを決めて取り組むこともよい学習です。
「読むこと」の力を身に付けるために	<ul style="list-style-type: none"> 物語を読むときには、まず大まかな話の流れをつかみましょう。そして、場面の様子や気持ちを表す言葉に注目しながら、登場人物がどのような気持ちで話したり行動したりしているのかを想像しながら読み進めていきましょう。また、内容面だけでなく、言葉の使い方の面白い点やすばらしい表現が使われている所など、作者の書き方の工夫についても考えながら読みましょう。 家庭においても、国語の教科書を何度も声に出して読んだり、授業の内容をまとめ直したり、ノートに読み取ったことを書いたりするなどの学習に取り組みましょう。また、学校で学習した物語の同一作者やテーマにそって、学校や地域の図書館で本を借り、学校や家庭で進んで読書する習慣を身に付けましょう。
「言語についての知識」を身に付けるために	<ul style="list-style-type: none"> 漢字については、国語の時間に学習した漢字を中心にして、他の教科や毎日の生活の中で、読んだり書いたりできるように心がけましょう。また、漢字が分からないときは、進んで辞書などで確かめて正しく読んだり書いたりできるようにしましょう。 日常生活の中のいろいろな場に応じて、正しい言葉づかいで会話できるようにしましょう。また、読書を習慣にして、読書を通していろいろな言葉を身に付けることも重要です。